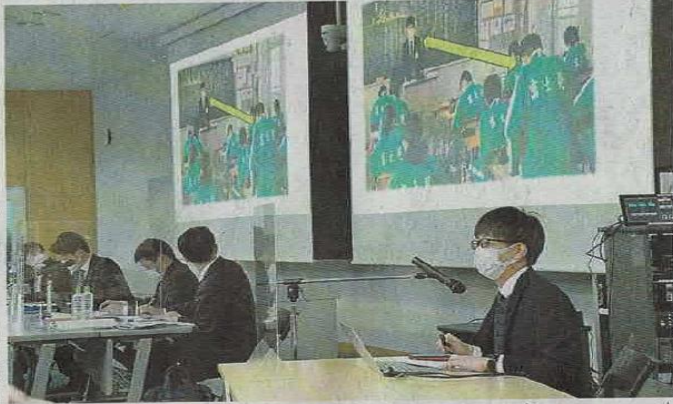


# よりよい道徳授業を

## 120人が事例や課題共有



自校での取り組みを  
発表する木村教諭(右)

先進事例や課題を共有した。

県内小中学校で授業を担当する教員や各教育委員会の職員、教員を目指す学生らが参加した。パネルディスカッションには前橋富士見中の木村貴博教諭、玉村小の東陽子教諭、同大付属中の千明牟教諭、同大付属小の桑原和馬教諭、文部科学省の浅見哲也教科調査官が登壇。それぞれ自校で実践する授業内容や全国的な動向などにつ

いて発表した。

他の教科と比較し、児童生徒の学びの過程や成長に対する評価に難しさを感じる教員が多いという道徳科。登壇者からは「ICTの活用で成長の様子を蓄積、可視化する」「職員同士の共通理解を高めることが大切」といったアイデアが挙がった。

その後、浅見さんによる講演でさらに理解を深めた。

道徳は2018年度

に小学校で、19年度にた。シンポジウムは3  
中学校で教科化され  
回目で、同大共同教育

学部付属教育実践センターが主催した。  
(北沢彩)

## 前橋で教員らシンポ

「道徳科」の充実を図ろうと教育関係者を対象としたシンポジウムが7日、前橋市の群馬大荒牧キャンパスで

開かれた。学習指導要領の改定で教科化された、評価対象となった道徳の授業運営などに

ついて、約120人が

全国的な動向などにつ

いて発表した。

他の教科と比較し、児童生徒の学びの過程や成長に対する評価に難しさを感じる教員が多いという道徳科。登壇者からは「ICTの活用で成長の様子を蓄積、可視化する」「職員同士の共通理解を高めることが大切」といったアイデアが挙がった。

その後、浅見さんによる講演でさらに理解を深めた。

道徳は2018年度